

中二国語科通信

第3号
平成30年7月20日
国語科2年担当
奥池・日高・狭間



ひまわりの花びら一枚ひらきいて
「東はあちら」と指さしている

ニュース・トピックス

木曜日0限に、新聞の一面を使った取り組みを始めました。手順は、①各記事の境界がはっきりわかるようにオレンジペンでラインを引く②記事中のプラズワード（なんとなく「良い」「イメージの言葉」）に黄色のマーカー、マイナスワードに緑色のマーカーを塗る③それぞれのワードを小さい紙に書き出し、国語辞典で調べて裏に意味を書き出す④見出しをつける⑤書き出したワードを使って、フェイクニ



容疑者検定で犯罪者続出

先週、刑務所内で牢屋の場所を決める「容疑者検定」が行われた。容疑者検定とは、成績の上から順に良い牢屋に入れる制度だ。A容疑者は仲間と協力して全てのミッションに合格することができた。A容疑者らは、トツクラスの牢屋にミシユランの食事など贅沢な生活を手に入れた。他の容疑者らは釈放された後に「刑務所で贅沢な生活をした」という理由で犯罪をし、再逮捕される人が続出している。これから容疑者検定は難しくなるだろう。(Sさん)

猫が器物損壊罪で 現行犯逮捕

昨夜未明、猫が障子を引き裂いているところを現行犯逮捕。猫は以前も刺身を食べた容疑で逮捕されるなど、非行が目立っていた。事件現場に居合わせた猫の飼い主は当時を振り返る。「あのコは根が良い子なんだけど、やっぱり障子を見ると破きたくなくつちやうのかしらね。」猫は有罪判決を下されたが、被害を受けた家族の意向により、懲役三日・一週間の自宅謹慎と、通常よりも軽いものとなった。「あの子が改心することを願っている。」と飼い主は語る。(Hさん)

法改正 犯罪者にテスト

今日の国会で犯罪に関する法律が改正されること決定された。これは容疑者があるテストで一定の点数を取ると、合格釈放されるといふ仕組みである。警察も、勉強本を容疑者に貸し出すなど、全面的に支援に乗り出すこととなる。しかし、釈放された容疑者が再び犯行を起すなどの可能性があり、これを踏まえて、野党は猛抗議に出たが、与党が強行採決に出く、可決された。今後、このテストにより、犯罪者が増加しないかが心配される。(H君)

コラムマラソン 第三回 「なんとかなる」

狭間千穂

私にとって夏休みといえば、小学生の時の「歯磨きチェックカード」だ。大きなリンゴの木にたくさんの実がなっていて、歯磨きをした日には色を塗る。当時の私はいへんなスボラで、歯を磨かない日もあったらしい(今では気持ち悪くて考えられない!)

さて、八月も後半になり、色の塗られていないリンゴの木を前にどうしようかと悩んでいた私(変なところで真面目)。悩む私を見て叔母が言った。「歯茎から血が出るほど磨いて、全部色塗ったらええんよ。」——大人ってすごいな、と思うと同時に、一人で悩むより、誰かに相談すれば解決することであるんだな、ということを実感した。

しんどい時は、誰かに話してみよう。それでなんとかなることも、あるよ。

第1回の作品の中から、教科担3人が独断で選んだ最優秀作品です。↓↓↓

「駄洒落法」

来月一日より施行

生徒指導省は二十八日、授業を妨害する悪質な駄洒落を規制する「新環境保全法」を七月一日付で施行することを発表した。この法律は先日行われた世論調査です。で約九十パーセントの支持を得ている。宮崎市の学生(15)は、「今まで待ちに待っていた」と大きく期待を寄せている様子。一方、反対派グループ「カラス」の関係者は「大変遺憾。いかんいかん」と話す。生指省は「デモには十分警戒を」と、各省庁に注意を喚起している。(Yさん)